



オフタイムの楽しみ **子育て・教育**

## 変革の時代のあるべき教育 数学の面白さが実感できる本

### 2

020年の大学入試改革の動きが牧歌的に思えるほど、第4次産業革命の大波は高速で世界を覆い尽くつた。数年後には、今ある職業のほとんどが入れ替わるといふ予測も、説得力を増すばかりである。

そのような時代にあつて、わが子にどのような教育を受けさせるべきか。親として迷うところだろう。『最先端の教育』は、変革するつもりがないように見える日本の学校にわが子を預けることに疑問

を感じる親たちに対し、一つの明確な視座を提供するだろう。2人の論客の言葉は極論に思えるかもしれないが、鋭いし具体的であるし行動を伴っている。

それにしても、竹内薫氏のような鋭い知性を持った方が、現状に失望したからとはいへ、本当に小学校をつくつたというのは、勇気づけられる事実だ。次々とトップの人材の教育参入を期待したい。これからの教育としてSTEAMがよく語られるが、そのM(数

選・評  
高濱正伸  
花まる学習会代表

学)の底力を付けさせるために『東大の数学入試問題を楽しむ』を推薦する。大学入試の世界のレジェンドのような著者だが、頑固なまで見える一本筋の通った数学論は、常に社会分析と絡められ味深い。単に合格する技法などではない、数学の本当の面白さを伝えてくれることを、例えば第

1話を読んだだけで、実感できるであろう。こんな本を趣味として味わう大人が増えれば、次世代の学力も国力も上がる。『東大教授が教える知的に考える練習』は、さばき切れないほど大量の情報に囲まれた今だからこそ、考えるということはこういうことだということ、具体的な思考術を教えしてくれる。「幹をつかむ」「共通点を探す」「相違点を探す」というような平たい表現で、あふれる情報の中から、自分のための意味ある情報を生み出していく手法を、指南してくれる。



『10年後の世界を生き抜く最先端の教育』  
竹内 薫、茂木健一郎 著  
(祥伝社 1500円)



『東大の数学入試問題を楽しむ 数学のクラシック鑑賞』  
長岡亮介 著  
(日本評論社 2200円)



『東大教授が教える知的に考える練習』  
柳川 範之 著  
(草思社 1300円)

make it possible with canon

写真は撮っただけじゃなく  
アルバムにすることで愛情になる。

PhotoJewel

詳しくは、PhotoJewel S スペシャルサイトへ。  
親子が写真の記憶を辿るWEBムービーも公開中。

**PhotoJewel S**  
ぜんぶおまかせ、かんたんフォトブック

写真はよく撮るけど、撮りっぱなしでせっかくの  
写真を見る機会がない… PhotoJewel S なら  
パソコンやスマホから自動レイアウトで  
すばやく簡単にフォトブックが完成できます。

※詳しい対応状況はホームページをご確認ください。

※サイズは5種類。表紙カバーや用紙タイプも  
自由にセレクトできます。

[canon.jp/pjs-da](http://canon.jp/pjs-da) キヤノンマーケティングジャパン株式会社